

美しい室蘭の動画

PV審査グランプリ発表

室蘭市の若手職員が企画した「室蘭プロモーションビデオ(PV)グランプリ」の発表会・表彰式が1日、室蘭市祝津町のみたら室蘭で開かれ、海星学院高校(堺俊光校長)の5組10人が室蘭の魅力伝える6秒動画の出来栄を競った。

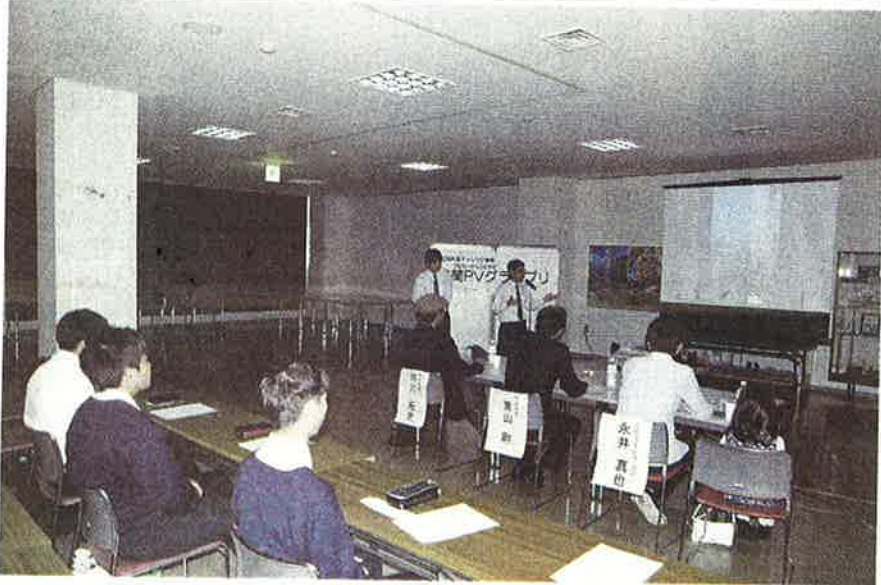
2015年度(平成27年度)に実施した職員対象の政策プロセス・マネジメント研修で発案された事業を16年度に予算化した職員研修チャレンジ事業の一つ。「私たちにとっての室蘭」をテーマに、動画アプリ「vine」の制限時間(6秒)でPVを制作した。

いった映像のPRポイントを説明。青山剛市長、室蘭を舞台にした映画「モルセラニの霧の中」を撮影している坪川拓史監督、同研修講師の永井真也・室工大准教授が審査した。

最優秀賞は、内池向日葵さん(1年)と大須賀舞さん(同)が手掛けた作品。内池さんが作曲した音楽に合わせて手書きの「ボルタ」が市内各所を回り、最後に「くじらん」とともに夜景観光への来訪を呼び掛ける内容だ。2人は「室蘭を知る良い機会になりました」と笑顔を見せていた。

坪川監督は「今回撮影した場所は年齢を重ねるほど宝物になる」と講評。青山市長も「地域限定のシヨトコンテンツを発信することの魅力が伝えられる」と述べた。

PVは後日、市のホームページで公開する。
(有田太郎)



高校生が作った室蘭を6秒でPRする動画の発表会